



「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

地域の力の探し方

住んでいる人のこと、お店のこと、サークルのことなど地域について一番知っていたり、つながりを持っているのはそこに暮らす方々です。

桜木南区町内会では、こうした地域の資源やつながりを持ち寄り、アイデア満載な行事を企画しています。



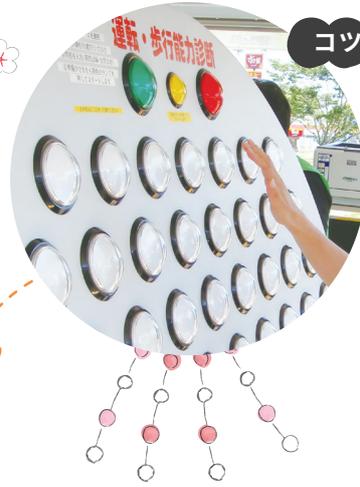
コツ1

左はハツ鹿踊り。会長が出先で観て直々にオファー。右はタガレンジャー。多賀城で活躍している人を探してみましょう。



コツ2

多賀城市国際交流協会から万国旗を借りました。多賀城で活動する団体の協力を仰ぐのも良いですね。



コツ3

宮城県警の運転・歩行能力診断ゲーム。公的なメニューも活用できます。



コツ4

こちらは一人芝居。地域内外で活動するアーティストも探してみましょう。



コツ5

マジック披露。地域のサークルや住民の特技も活かします。

お祭りや敬老会などの行事を企画する時は、「そういえば他のイベントでこんな見たことある」「あの人は〇〇が得意」と実行委員会で自由にアイデアを出しあえると、いつもとは一味違うイベントをつくることができます。

Hint from *Tagasapo Press*

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

2017年7月6日(木)掲載 / 夏祭りのネタを探している方へ他地区ではこんなことをしています。

2018年10月15日(月)掲載 / 地域の宝物を発掘！町内会文化祭レポート

2019年2月19日(火)掲載 / より楽しくアイスブレイクを。カードゲーム「ちよい知る」

“たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぼPress」へ！
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



「tag」のアンケートへご協力をお願いします！



今後の誌面づくりの参考にしたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いします！

また、以下のような情報もお待ちしています！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

出前NPOいちから塾

NPOって何？どんな活動をしているの？多賀城にNPOはあるの？といった疑問にたがさぼスタッフがお答えします。ちょっとした勉強会、研修プログラムなどにご活用ください。

- | | |
|-----|--|
| 内容 | NPOの意味や成り立ち、具体的な活動事例紹介 |
| 時間 | 60分～90分程度 |
| 対象 | ・活動をふりかえりたいNPO
・他団体と協力して地域のことを考えたい自治会
・連携先を探している企業・行政
・地域の活動とつながりたい学校など |
| 会場 | 要相談 |
| 費用 | 無料 |
| 問合せ | 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター) |



想いのある若い世代を地域へ

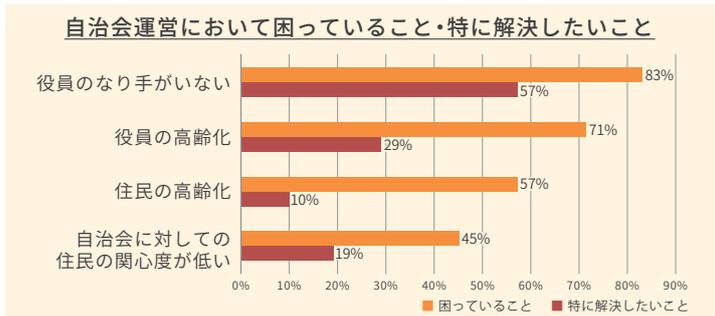
若い世代の力を借りたいと思っている自治会の方々へ。今回はそのヒントとなる取り組みをご紹介します。

若い人たちが地域に関心を持っているんだね～



自治会運営で困っていること

下のグラフはたがさぼが2017年度に実施した「多賀城市自治会課題・取り組み事例調査(市内46自治会中42自治会が回答)」の結果を集計したものです。自治会運営について困っていることを会長のみなさんにお聞きし、回答の多かった4項目を抜粋しました。



「役員のなり手」「高齢化」「自治会への関心」が自治会運営についてのキーワードと言えます。今回は若い世代に地域に関わってもらうため動きはじめた、城南自治会のお話を会長の宮川兼昌さんに伺いました。

1 地域には若者の発想と行動が必要

城南地区は、多賀城市の中では比較的人口が多く、高齢化率も低い地区です。しかし、他の地区と同じように自治会運営の担い手の多くは年配の方です。地区の将来を考えた宮川さんと役員の方は、この状況をどうにか変えていき、前向きに地域づくりを進めていきたいとずっと思っていたそうです。「若い人は新しいことを考える力、行動を起こしていく力がある。一緒に地域のことを考えたい」との想いから宮川さんたちは、若い人たちが集まって地域のことを話せる機会を設けました。



自治会長の宮川さん。ご自身もさまざまな地域活動に携わっています。



2 話しやすい工夫、巻き込む工夫

地域の40～50代が集まり「同士の会」が誕生しました。「同士の会」はあくまで自治会とは別組織ですが、しっかりバックアップできるよう自治会役員もメンバーに加わっています。集まって話す場所も、地区集会所では味気ないということで、うどん屋さんでお酒を飲みながら行いました。ざっくばらんにアイデアが出せるよう工夫がなされています。どの地区でも若い人を集めるのは苦労していると思います。「同士の会」のメンバー集めは、まずは夏祭り等の地域行事で積極的に取り組んでくれたり、地域づくりに関心のある人に「飲みながら地域のことを話さないか」と直接声がけをするところからはじめました。回覧でもお知らせし、現在は8名が参加しています。一人、また一人と地道に巻き込んでいくことが大事です。



▲「同士の会」のお知らせ。『行事には、無理のない範囲での協力で構いません。』との一文も。みんなができる範囲で関わることができます。

3 地域の世代交代

2018年3月に立ち上がり、月1回のペースで集まりを開いています。同年10月には「同士の会」と子供育成会が共同で芋煮会を企画し、200人以上の住民が参加しました。その他、防災訓練の手伝いなども行っています。とはいえまだスタートしたばかり。宮川さんは「若い人たちは働いているため、どうしても年配者が主導してしまう時もある。今後はもっと若い人たちが引っ張っていける組織になり、地域の中で世代交代が図れればと思う」と今後のことも語ってくれました。

広報多賀城3月号では、本記事と連動して「自治会の連携と一人ひとりの地域とのかかわり」という特集を掲載します。あわせてご覧ください。

What's ?



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo
たがさぼのツイッターへのフォローをお願いします！



<https://www.tagasapo.org/>
2018年4月にリニューアル！「たがさぼ」のホームページはこちら